

中央中学校  
平成30年度  
学校通信

ひら

# いま拓く

桐生市立中央中学校  
平成30年 7月12日  
NO. 9 文責：寺島

## 「その五文字」、心に届きました

### —桐生市中学校弁論大会—

校内弁論大会で最優秀賞に選ばれた大田桃愛さん（3年1組）が、7月5日（木）、桐生市立中央公民館で行われた桐生市中学校弁論大会に出場しました。結果は優秀賞。わずかな差で少年の主張東毛地区大会への出場はかないませんでした。大田さんの弁論は、校内弁論大会のときよりも数段高いレベルのものとなっていました。全く原稿を見ず、聴衆に顔を向けて表情豊かに思いを論じることで、聴く人の胸を打ち、心の深いところまで届いたのです。学期末の忙しい中、弁論と真っ直ぐに向き合い、猛練習を行った努力の成果と言えるでしょう。中央中の代表として頑張ってくれた大田さんに、中央中の全員が惜しみない拍手を送ります。お疲れ様でした。素晴らしい弁論でしたよ。

また、中央公民館に応援をするために同行してくれた校内弁論大会出場のみなさんも各学校代表の弁論を真剣に聞いてくれました。きっと1年生、2年生がこの経験を来年度に活かしてくれることでしょう。丹羽歩夢君（3年1組）と張乃之さん（3年2組）は、大会の最初から最後まで集計表の受け渡しのお手伝いをしてくださいました。これも中央中の誇りです。丹羽君、張さんをはじめとする応援のみなさんもお疲れ様でした。

弁論の内容を公表することに大田さんが同意してくれましたので、以下、原稿から転記していきます。誤字等があった場合は転記者（寺島）の責任ですので御承知おきください。（その場合、次号で訂正いたします）



▲心を込めて語る大田さん

「その瞬間の、その五文字」

桐生市立中央中学校 大田 桃愛

日々私達は、たくさんの人に支えてもらいながら生きています。毎日、おいしいご飯をつくってくれるお父さんやお母さん。自分の仕事を手伝ってくれる心優しい友人。このように、何気なく生活している中には、感謝を伝えるべき時がたくさんあります。

また、私達は幼い頃から、「感謝を伝えることは大切なことだ」と教わってきました。ですから、感謝を伝えることの大切さは、私達も子供ながらに理解はしていました。

感謝を伝える時に使う代表的な言葉、「ありがとう」。みなさんも当然のように知っていますよね。

ここでみなさんに質問です。みなさんは、「ありがとう」をちゃんと伝えられていますか。いちいち言うのは面倒くさいとか、面と向かって言うのははずかしいとか、親に何かをしてもらうのはあたり前だとか、思っていないですか。これから話すのは、私が経験したある後悔の話です。

私の祖母は、私が小学3年生の頃に、特殊な肺の病になりました。医師からも「余命は三年ほど。そう長くは生きられないでしょう。」と言われていたそうです。

祖母は、小さい頃から両親が共働きだった私の面倒をいつも見てくれました。私が「これが欲しい」というと「もちろん」と言って買ってくれる私に甘い祖母でした。私はそんな祖母の優しさにいつも甘えていました。

私が中学二年生になると、祖母は施設に入ることになりました。施設となると今までいた病院とは違って、いざ状態が悪化しても、すぐには気づいてもらえません。ですが、まだ私はそこまで心配はしていませんでした。「ばあちゃんに限って倒れることはないだろう。またすぐに会いに行ける」と安易に考えていたのです。

二年生の夏休みになりました。私は普段通り、部活に行くための準備をしていました。いつもより元気がない母が少し気になりましたが、私はそのまま部活に行きました。家に帰ると父は突然、「ちょっと大事な話がある」と言いました。そこに母もいて、私は少し嫌な予感がしました。その予感は間違いではありませんでした。

「ばあちゃんが、昨日の夜に、亡くなった。」

「え？」

風船がパンとハレツしたかのような衝撃が体中に走りました。息が苦しい。まだ信じられませんでした。今思えば、朝、母に元気がなかったのは、このことだったのかと後に理解しました。

私は祖母から、たくさんのお世話をしてもらってきました。しかし、私は祖母に「いつもありがとう」と言えませんでした。それをしてもらうのがあたり前だと思っていたのだと思います。いくら本人に伝えたくても、もう遅い。その人はもう私の前にいないのだから。「ありがとう」は、その時にしか伝えることができないのだと、胸が痛くなるほど感じました。

「ありがとう」。たった五文字の言葉。シンプルな言葉ですが、その中にはたくさんのお世話が込められています。ですが、シンプルな言葉だからこそ、「ありがとう」と伝えることがおろそかになってしまいます。

最初に話した、ご飯をつくってくれること、いつも手伝ってくれること。これらは決してあたり前ではありません。あなたを思ってしてくれているということを忘れないでください。「ありがとう」は、あたり前と思った気持ちでは伝えることができません。

みなさん、となりの友人を見てください。その友人がとなりにいることはあたり前ではありません。少しおおげさですが、友人に「となりに座ってくれてありがとう」と言ってみてください。

ぜひ、かけがえのないその瞬間にしか伝えられない、「ありがとう」を。

ご清聴ありがとうございました。